

# ゴルフ会員権の 税務上の評価について

Q 相続税や贈与税を計算するときのゴルフ会員権の評価について教えてください。

A ゴルフ会員権と言っても、その内容はさまざまです。

- 株式の所有を必要とせず、かつ、譲渡できない会員権で、返還を受けることができる預託金等がなく、ゴルフ場施設を利用して、単にプレーができるだけのものについては評価はしません。つまり、このようなゴルフ会員権は相続税等の対象とはなりません。
- ①のゴルフ会員権以外でも、取引相場がある会員権と取引相場がない会員権では評価の方法が異なります。

## 〈取引相場があるゴルフ会員権の場合〉

取引相場がある場合は、その会員権の種類にかかわらず、課税時期(相続の場合は被相続人の死亡の日、贈与の場合は贈与により財産を取得した日)の取引価格の70%に相当する金額によって評価します。

この場合において、取引価格に含まれない預託金等があるときは、次に掲げる金額との合計額によって評価します。

- 課税時期において直ちに返還される預託金等がある場合**  
ゴルフクラブの規約などに基づいて課税時期において返還を受けることができる金額
- 課税時期から一定の期間を経過した後に預託金等の返還を受ける場合**  
ゴルフクラブの規約などに基づいて返還を受けることができる金額の課税時期から返還を受けることができる日までの期間に応ずる基準年利率による複利現価の額

## 〈取引相場のない会員権の場合〉

- 株主でなければ会員となれない会員権**  
財産評価基本通達の定めにより評価した課税時期における株式としての価額に相当する金額によって評価します。
- 株主であり、預託金等を預託しなければ会員となれない会員権**  
①の株式の価額と取引相場がある場合に計算した預託金の額との合計が評価額となります。
- 預託金等を預託しないと会員になれない会員権**  
取引相場がある場合の預託金の額が評価額となります。



このコーナーは、税理士、公認会計士によって構成される税務実務家の研究グループが担当しています。このコーナーに関するご質問は、下記の事務局までお願いいたします。

税理士・公認会計士 香本 明彦・谷口 貴  
 税理士 植田 順・堀口 裕弘・木戸 義人・松井 克行・萩 恒夫・萩原 政宏  
 岡本 弘之・今西 正二・徳山 智子・縄田 浩昭・中川 秀夫・桒崎 静子  
 新見 和也・古瀬英美子

伏研会事務局 京都市伏見区桃山町養斉19-14 植田順税理士事務所内 TEL:075-604-3160 FAX:075-605-0185

## 第2次ゴルフブームの立役者「石川 遼」が復活!!

国内メジャー初Vに続き、次は米ツアー初Vへの期待感高まる

昨年の男子プロゴルフツアーの最終戦「日本シリーズJ-Tカップ」(東京よみうりCC)は、まさに千両役者、石川遼(24)の独り舞台だった。圧勝という展開にも本人は、「余裕がなかった」と反省しきり。それもそのはず、前週のカシオワールドでは、首位でターンしながらも悔しい逆転負け。その轍を踏みたくないといったプレッシャーも頭をよぎったのかもしれない。日本シリーズでの石川は、ショット・バットとも素晴らしかった。さすがに、米ツアーでもまれただけのことはあるとギャラリーをつならせた場面もいくつかある。カシオワールドでもアプローチにその冴えを見せ、苦しみが階段を上っていく石川。強風下のショットでも技を見せた。この技も米ツアーで鍛えられたものだが、石川なりの工夫と努力が隠れていた。「6番アイアンのショットを女性用の柔らかいシャフトに差し替えての練習が功を奏した」という。その時つかったシャフトのイメージが石川の技にさらに磨きをかけ、強い自信に結

びついたという。出場選手から悲鳴が上がった高速グリーンも米ツアー仕込みの石川にはかえって味方となつたようだ。



米ツアーの2016年シーズンはすでに開幕しているが、日本ツアーでの戦いは16年の米ツアーでの戦いの準備、さらなる高みを求めて実践テストであったのかもしれない。世界ランクは139位から日本勢6番目の103位(平成27年12月25日現在)に浮上。松山英樹に次ぐ2番手になれば、今年のリオデジャネイロ五輪の出場権も得られる。

男子プロゴルフ界を復活させ、シムニアだけでなく、女性層のゴルフファンを醸成させた救世主。

日米ツアーを掛け持ちする身でのシード権獲得は重圧だろう。石川は自らの将来に重ねて、日本のツアーも見据えている。プロの役目は何か。ギャラリーサービスとは何か。世界のフィールドを経験し、多くを学ぶ姿勢は頭が下がる。

石川遼は、9年連続のMIP (Most Impressive Player) 賞を獲得したが、男子プロツアーの人気低下を危惧している。ゴルフファンの増大がプロゴルフ界の興隆に寄与し、さらにはゴルフ界全体を盛り上げていく原動力という持論をもっている。ゴルフ人気の発信力はプロが握るという自覚があるからだ。MIP 賞受賞後に見せた表情は、時代を担う若手プロの意気込みと自覚を感じさせる。厳しいものだったが印象的だった。